



平成 29 年度富山県内大学・短大・高専 合同進学説明会

- 高岡会場（高岡文化ホール）：平成 29 年 10 月 28 日（土）
- 富山会場（富山国際会議場）：平成 29 年 10 月 29 日（日）

平成 28 年度に引き続き、県内高等教育機関が一堂に会し、県内の高校生、保護者を対象としたブース形式による個別相談、大学紹介による合同進学説明会を開催した。

今年度から始まった「キャリアデザイン講座」では、富山大学アドミッションセンター・船橋伸一副センター長が「県内教育機関で学ぶことの魅力と意義」について講演し、定村誠 COC+

連携推進コーディネーターが、未来の地域リーダーを育てる教育プログラムを紹介。さらに、28日は、富山大学 OG で北陸銀行本店営業部得意先課の和泉寛子さんが「富山県に生まれ育ち学んだこと」について、29日は、富山大学経済学部総務課の



林優菜さんが「自分が輝ける場所ー地元でのキャリアを目指してー」について講演した。

参加者の声

- ・理学部か工学部志望。個別相談で話を聞いて、ぜひ入学したいと感じた。(石川県・女子)
- ・都市デザイン学部に興味があり、その情報が聞けて良かった。(富山県・男子)
- ・看護師を目指す娘と一緒に参加。地元で進学してくれると嬉しい。(富山県・保護者)



地域志向科目「地域ライフプラン」の配信開始

平成 29 年度後学期 毎週木曜日
5限 (16:30 ~ 18:00)

平成 29 年度後期から、地域志向科目「地域ライフプラン」を Web 会議システムの利用により、県内高等教育機関へ配信し、双方向で授業を行っている。授業では、グループワークやクリッカーシステムにより学生同士の考えを共有し、より自分の考えを考察できるように工夫されている。他の大学の学生とコミュニケーションを図りながら、ディスカッションとプレゼンテーション能力を養っている。また、富山県内の地方公共団体や企業からゲストを招き、意見交換することで、地域への意識・愛情・愛着を醸成し、地域におけるライフプランを想定・作成することを目的としている。



地域科目授業レポート

芸術文化学部：平成 29 年 8 月 26 日(土)

工学部：平成 29 年 9 月 26 日(火)

経済学部：平成 29 年 11 月 22 日(水)

理学部：平成 29 年 10 月 26 日(木)

地域課題解決科目 ● 芸術文化学部「特別講義(「LIVING ART in OHYAMA」プロジェクト実習)」

芸術文化学部芸術文化学科の学生 11 名が、富山市大山地域で開催されたデザイン・アートイベント「LIVING ART in OHYAMA 2017」に参加し、ワークショップやイベントの運営を通じてアートへの理解やコミュニケーション能力の向上などを図った。このイベントは、旧大山町の事業であった「木と出会えるまちづくり事業」の一環としてスタート、毎年 8 月末に実施しており、イベントに参加している他大学の学生と協力しながらイベントの運営にあたった。

芸術文化学部の学生は万華鏡やバードコール作りが体験でき

るブースを、同学部の内藤講師はガラスと金属線、木片を使ってオブジェを作るブースを出店し、多くの親子連れがこれらのワークショップを楽しんだ。



また、会場では、小学生のスケッチをもとに作品化する「木の冒険道具コンペティション」の応募作品が展示された。内藤講師は「このイベントは学生が外部の人とのコミュニケーションから学ぶ貴重な機会になっている」と期待を寄せた。

地域課題解決科目 ● 工学部「創造ものづくり」YKK センターパークの見学

工学部機械知能システム工学科の 3 年生約 100 名が、YKK 黒部事業所「YKK センターパーク」を見学し、同社の歩みやファスナー・窓の製造工程に理解を深め、同学科 OB の社員と質疑応答を行った。

はじめに人事部の藁科佑輝さんが、同社はファスナーを扱う「ファスニング」、窓を扱う「AP」、機械・設備・ラインの開発を担う「工機」と三つの事業部門に分かれていることや、自前の材料や製造機械も手掛ける「一貫生産思想」をこだわりとしていることなどを紹介した。

続いて、学生らは 4 グループに分かれて YKK センターパーク内を見学。また、創業者である吉田忠雄氏の経営理念や生涯について映像で学んだ。

OB との懇談では、入社して 3 年目の機械製造部・大野光輝さんと中国出身で入社 6 年目の生産技術・応磊さんから話を聞

いた。学生からは「語学はできた方がいいか?」「1 日の仕事の流れは?」などさまざまな質問が上がり、OB の 2 人はひとつひとつ丁寧に答えていた。



地域課題解決科目 ● 経済学部「地域再生論演習」

魚津市役所において「地域再生論演習」の現地調査が行われ、経済学部の 2～4 年生 12 名が、観光や教育などのテーマごとに 3 つのグループに分かれ、同市役所職員等と質疑応答を



行い、魚津市の現状について理解を深めた。商工観光課は「飲食店の活性化、イベント」、学校教育課は、「ふるさと教育について」、生涯学習・スポーツ課は「魚津のタテモン行事を含む文化財・文化遺産」について、それぞれ担当者と学生で議論を交わした。

さらに、「飲食店の概要と活性化」などについて話し合い、学生からは「SNS を活用して、若者や外国人の関心を集めてはどうか」という意見が挙がった。

企画総務部企画政策課地域資源推進班の前田久則さんは「職員や市民が気づかない部分にスポットを当ててほしい」と話し、今後の学生の取組に期待を寄せた。

地域課題解決科目 ● 理学部「海域地球科学実習」

富山高専の練習船「若潮丸」を使った海域地球科学実習が実施された。富山大学理学部の松浦知徳教授、安永数明教授、楠本成寿准教授が引率し、理学部の学生 28 人が、富山高専臨海実習場(射水市)から富山湾沖約 30 キロまでを航行する間に 2 つの停船ポイントで、観測や海水採取などを行った。実習の目的は将来、調査船・観測船などに乗る際の観測作業を体験するため、学生たちは安全を心掛けながら調査にあたった。

まず、「若潮丸」の中松英也 船長があいさつを述べ、金山恵美 一等航海士が乗船にあたっての安全説明を行い、千葉元 同高専教授による実習船内での行動規範や富山湾の構造、航行に関係した専門用語などの解説があった。船内の見学を経て出航し、実習海域へ向かった。

学生たちは事前学習を経て乗船実習に臨み、測位、気象観測、海表温度の計測、バケツ採水の計測、電気伝導度水温水深計

(CTD) 観測、各層採水の計測、圧縮変形実験と 7 つの作業を行った。また、それぞれに記録用の写真を撮影するなどレポートのための資料集めにも取り組んだ。

松浦教授は、富山湾の水塊構造が研究テーマであり、学生は同教授の指導の下、水深 1,000 メートルと 700 メートルの水温・塩分濃度を測定した。安永数明教授は、船上から雲の量や形を記録する実習や放射温度計を使って海の表面温度を測るなどの実習を指導した。楠本成寿准教授は、地下構造の把握が専門であり、学生はスマートフォンの GPS 機能を使って位置情報を確認し、船上に搭載されている精密な機器によって得られる測位データと比較した。

実習を終えた学生は「船上で普段できない体験ができた」「海に野菜を沈めることで漬物のようになる“深海漬け”がおいしく、海を五感で味わうことができた」などと話した。



新たなインターンシップ報告会

平成 30 年 1 月 26 日 (金)
富山国際学園サテライトオフィス「地域交流センター」富山駅前 cic ビル 3 階

「とやま人材育成を考える会」が主催する平成 29 年度「新たなインターンシップ報告会」を、1 月 26 日、富山市内の Cic ビル内にある富山国際学園サテライトオフィス「地域交流センター」において企業の関係者や富山大学・富山県立大学・富山国際大学の学生・担当者が参加して開催した。

富山大学、富山県立大学、富山国際大学は平成 28 年度から、ALL 富山 COC+ 事業の一環である新たなインターンシップとして「中・長期インターンシップ」「課題解決型インターンシップ」「文理融合型インターンシップ」を行っており、今年度は

県内企業 8 社の協力により 25 人の学生が参加した。

インターンシップに参加した学生が、成果発表を行い、企業の担当者から講評や大学・学生への要望があった。



ALL 富山 COC+ シンポジウムの開催

平成 30 年 2 月 10 日 (土)

産業界との連携を強化し、入学から就職までのつながりのある取組の構築を目指して開催。



女性が輝く職場訪問

第1回	平成 29年 11月 1日	YKK株式会社
第2回	11月 15日	株式会社インテック
第3回	12月 6日	株式会社廣貫堂
第4回	12月 13日	株式会社リッチェル

11月15日、学生8名が、株式会社インテック本社（富山市牛島新町）を訪問し、IT業界や同社の事業内容、社員の働き方について理解を深めた。

はじめに、富山大学経済学部OBで人事部採用担当の井林純さんが、IT業界の特徴と、その中で同社が果たす役割に

女性が輝く職場訪問

女性が輝く元気企業とやま賞を受賞した県内企業で働く女性に、いろんなことを聞いてみましょう！

- 1 11月1日 13:30~18:00 YKK株式会社
- 2 11月15日 13:30~18:00 株式会社インテック
- 3 12月6日 13:30~18:00 株式会社廣貫堂
- 4 12月13日 13:30~18:00 株式会社リッチェル

※対象：1~3年次 男子学生も歓迎！

お問い合わせ先 就職・キャリア支援センター
TEL 076-443-4251 email@f-u.ac.jp

ついて紹介。続いて女性管理職を代表し、北陸地区本部 北陸品質保証部長の中陳実佳さんが、自身の30年間のキャリアについて語った。

その後、中陳さん、人事部の新村敏美さん、北陸地区本部金融システム部の南桂子さんを囲んで座談会が行われ、仕事と育児の両立など女性



の働き方について話した。

職場訪問を終えた学生は「どの方も『コミュニケーションが重要』と話されたのが印象的でした」と話した。

この「女性が輝く職場訪問」は、女性の登用や能力の向上への取り組みに積極的で、女性が職場で生き活きと活躍する企業を訪問するもので、本年度はYKK、インテック、廣貫堂及びリッチェルを訪問した。

金融機関連携の企業紹介冊子の作成

平成 29年 12月 20日 富山銀行

富山大学と富山銀行が協働プロジェクトとして取り組み、学生向けの県内企業紹介冊子「企業研究～富山で輝く優良企業」を作成した。富山大学の学生ほか、ALL富山COC+事業に参加する高等教育機関にも配り、講義や就職活動に活用される。これは、意欲的な県内の企業情報を提供することで、学生に県内での就職を促進し、地元定着を図ることが目的であり、同時に、人材・人手不足の課題を抱える県内企業とのマッチングにつなげることで、地方創生を目指している。「未来の地域リーダー塾」の学生5人が、富山銀行の行員の支援を受けて、取材、

執筆した。誌面には、「取材すると、思っていた業種や企業イメージと違っていた」「企業の方に直接話を聞くことができ、面白かった」「県内の中小企業によい印象を持つことができた」など参加した学生の感想も掲載されている。

また、企業紹介のページには、同行の担当者が各企業を推薦する理由や、求める人材、学生へのアドバイスなどが掲載されている。金融機関の専門的な目線が活かされるなど、学生がより親しみやすい内容になるよう工夫を凝らしている。

